

1. 授業のねらい・概要

インターネットを用いたコミュニケーションの一手段として Web ページの作成と公開について実習を行う。Web はハイパーテキストの概念を元としている。ハイパーテキストは、人間が物事を記憶するように、あるいは記憶していたものを引き出す時のように情報を提示するものであり、Web はインターネット上でこれを実現したものである。

ワープロ感覚で画面をレイアウトするだけで気軽に Web ページを生成する「ホームページ作成ソフト」が市販されている。便利ではあるが、正しい知識を得た上でそういったツールを使うべきであるという考えで、こうしたソフトを使用せず、テキストエディタによって Web ページを作成するものとする。

課題として、各自テーマを決め、それについて説明するための Web ページを作成することで授業のまとめとする。

2. 授業の進め方

コンピュータ教室における実習形式で行う。HTML やスタイルシートの基礎知識に関する講義を受け、それに基づく実習を行うことで理解を深めてもらう。

3. 授業計画

1. HTML と WWW サーバー	9. div タグと span タグ
2. タグの基本と改行	10. 回り込み, リンクの CSS
3. 見出しと段落	11. 表の作成と CSS 指定
4. 文字の修飾, 画像の掲載, リンクの作成	12. グループ化とセルの結合
5. CSS の基本と文字書式の CSS	13. 表を活用したレイアウト
6. CSS における色指定と背景の CSS	14. リストの作成と活用
7. サイズ, 枠線, 余白の CSS	15. ページレイアウトの作成
8. 角丸, 影, 半透明の CSS	16. 定期試験

4. 到達目標

Web ページを企画し, HTML5, CSS, Javascript を使って Web サイトを設計できるようになること。

5. 準備学修に必要な時間, またはそれに準じる程度の具体的な学修内容

出題された課題の制作を通して, HTML のプログラミングを理解しておくこと (30分程度)。

6. 成績評価の方法・基準

受講態度, 実習課題の成果物, レポート, 期末試験を総合して評価する。

7. テキスト・参考文献

テキスト: 相澤裕介, 『情報演習 HTML5 & CSS3 ワークブック』, カットシステム, 2012年

8. 受講上の留意事項

学内メールを連絡用に使用する。